

関西学院大学大学院
法学研究科
2025年度 入学試験要項
(2025年4月入学)

博士課程後期課程

目 次

出願方法、注意事項、入試検定料	1
入学試験制度一覧	3
専攻・募集人員	3
アドミッションポリシー	3
出願時の注意事項	4
受験上の注意事項	4
入試内容の注意事項	4
一般入学試験	5～
J D入学試験	7～
社会人入学試験	9～
合格者発表、入学手続き、他	11～

出願方法

法学研究科(法学部)事務室へ郵送または持参してください。

(1) 郵送の場合

簡易書留郵便にて出願期間内に必着するよう送付してください。

なお、封筒のおもてに「法学研究科入学願書在中」と朱書きしてください。

(2) 持参の場合

受付時間… 平 日(月～金) 9:30～11:30 および 12:30～16:00

※土・日・祝日は休業

出願に際しての注意事項

- (1) 身体に障がいがあり、志望研究科において受験および入学後の就学に際して特別の配慮を必要とす志願者は個別資格審査期限までに法学研究科(法学部)事務室に申し出てください。
- (2) 入学後に健康診断を行いますので、出願時または入学手続き時に健康診断書は提出不要です。
- (3) いったん納入した入学検定料および提出書類は、いかなる理由があっても返還しません。
- (4) 出願手続きについて疑問がある場合は、法学研究科(法学部)事務室に問い合わせてください。なお、下記期間は本学指定の休暇日のため、休業となりますのでご注意ください。
2024年8月13日(火)～21日(水)、2024年12月24日(火)～2025年1月5日(日)
上記以外の休業日については、法学研究科(法学部)事務室まで問い合わせてください。
- (5) 出願書類の記載事項が事実と異なる場合、不正がある場合は、受験および入学の資格を取り消します。

入学検定料

- (1) 入学検定料の金額について 入学検定料は 35,000 円です。
本学の学部卒業者あるいは大学院修了者で試験科目が口述試験のみの場合に限り、入学検定料 25,000 円とします。該当者は必ず出願前に法学研究科(法学部)事務室に連絡し、額面 25,000 円の入学願書入手し、手続きしてください。一旦納入した検定料を後から減額することはできません。詳細は法学研究科(法学部)事務室に問い合わせてください。
- (2) 納入時の整理番号について
入学願書にある整理番号欄の上 1、3、4 桁目を次表の数字となるよう記入してください。
別紙「整理番号の記入方法について」もあわせて確認してください。

後 期 課 程	一般入学試験	7 1 6 4 0 5 0 0 0 0 ※本学法学研究科の内部進学者で論文試験、外国語試験ともに免除になる場合、整理番号が異なります。入学願書を法学部事務室へご請求ください。
	J D 入学試験	7 1 6 4 0 5 0 0 0 0
	社会人入学試験	7 1 6 4 0 6 5 0 0 0 ※本学卒業生の方は整理番号が異なります。入学願書を法学部事務室へご請求ください。

(3) 納入方法について

以下イまたはロの方法で期間内に納入してください。

出願期間内の土曜・日曜・祝日に納入する場合は、以下の「イ．コンビニエンスストア利用の場合」を参照してください。

イ．コンビニエンスストア利用の場合

末頁の「コンビニエンスストアでの入学検定料支払い方法」を参照のうえ、手続きしてください。

ただし、次表の入試に関しては、利用することができません。

後 期 課 程	社会人入学試験	本学の学部卒業者あるいは本学の大学院修了者の場合
	一般入学試験	本学法学研究科アカデミックコース修了見込者で論文試験と外国語試験が免除される場合

ロ．金融機関（郵便局・ゆうちょ銀行は不可）の窓口で納入する場合

「電信扱」で納入してください。(A) 票に記載の金融機関の本・支店から振り込む場合、手数料は不要です。取扱金融機関の出納印をもって、関西学院の領収とみなします。納入締切日の出納印まで有効です。なお、金融機関により出納日付の取り扱いが異なります。締切間近に納入される場合には、事前に金融機関にご確認ください。ATM(現金自動預払機)及びインターネットバンキングからの振込みは受け付けません。

入学試験制度一覧

法学研究科博士課程後期課程に入学するための入学試験制度は以下のとおりです。詳細は、各入学試験制度のページを参照してください。

入試制度	募集専攻			筆記 試験	口頭 試問	2月 実施	備考
	基礎法学 専攻	民刑事法学 専攻	政治学 専攻				
一般入学試験	○	○	○	○	○	○	
JD入学試験※	○	○	○	○	○	○	
社会人入学試験	○	○	○	—	○	○	

※ J D (Juris Doctor) 入学試験は、法務博士の学位を有する者または見込者を対象の試験です。

専攻・募集人員

博士課程後期課程は以下の3専攻です。募集人員は以下のとおりです。

	一般（正規学生）	J D（正規学生）	社会人（正規学生）
基礎法学専攻	2名	若干名	若干名
民刑事法学専攻	2名	若干名	若干名
政治学専攻	2名	若干名	若干名

アドミッションポリシー

法学研究科では、ソーシャル・アプローチの理念に基づき、広く深い社会的視野と教養に根ざした法学・政治学の研究を極めることを通じ、法と政治の基礎にある自由と人権、正義を重んじ、社会に奉仕する精神に富み、高度の専門的能力を獲得することを目指す学生を受け入れます。

後期課程には3専攻が設置されています。各専攻は、それぞれ次のような学生を受け入れます。

基礎法学 専攻	基礎法学・公法学の分野において自立して研究活動を行うことのできる高度な研究能力およびその基礎となる豊かな学識を身につけることを目指す者。
民刑事法学 専攻	民事法学・刑事法学の分野において自立して研究活動を行うことのできる高度な研究能力およびその基礎となる豊かな学識を身につけることを目指す者。
政治学 専攻	政治学の分野において自立して研究活動を行うことのできる高度な研究能力およびその基礎となる豊かな学識を身につけることを目指す者。

出願時の注意事項

1. 論文試験について

筆記試験を課す入学試験制度のうち、論文科目を受験する場合は、ご自身が指導教員として志望する教員の専門科目を選択してください。

なお、論文試験科目は、別紙「担当教員・受験科目等一覧」で確認してください。

2. 出願前の志望する指導教員との面談について

本学法学研究科では、出願前に志望する指導教員と面談を行うことは必須ではありません。ただし、面談を希望される方で教員との連絡方法がない場合は、本学法学研究科（法学部）事務室までお問い合わせください。

なお、指導教員は、別紙「担当教員・受験科目等一覧」で確認してください。

税法については、指導教員との事前面談は受け付けていません。

3. 出願書類の詳細については、6 頁以降で確認してください。

受験上の注意事項

1. 受験票は、出願受付後、郵送にて発送します。受験票は必ず携行してください。2 日前までに到着しない場合や紛失、忘れた場合は法学研究科（法学部）事務室に申し出てください。
2. 当日は試験開始 15 分前までに試験場に入室・着席しておいてください。
3. 試験開始後 30 分以上遅刻した場合は受験することができません。
4. 不正行為者は全科目を無効とします。
5. 携帯電話を時計として使用することはできません。

入試内容の注意事項

1. 外国語試験について

外国語試験は、英語・フランス語・ドイツ語・中国語（基礎法学専攻のみ選択可能）から 1 言語選択してください。辞書（英和・仏和・独和・中日のうち 1 冊）の使用を認めます。ただし、専門用語辞書および電子辞書は使用できません。

受験者の母語（第一言語）は選択できません。

2. 口述試験について

出願書類にもとづき、志望される専門分野の研究能力等について実施します。

3. 六法の使用について

論文科目の筆記試験および口述試験において、本学法学研究科で準備した六法の参照を許可します。持ち込みは一切認められません。専攻分野によっては、口述試験において六法を使用せずに実施する場合があります。

一般入学試験

I. 出願資格

次の各項のいずれかに該当する者。

- (1) 修士の学位を有する者および2025年3月までに修士の学位を得る見込の者。
- (2) 専門職学位を有する者および2025年3月までに専門職学位を取得見込の者（いずれも法務博士の学位を除く）。
- (3) (1) または (2) と同等以上の外国の学位を有する者もしくは国際連合大学の学位および2024年3月までに学位を得る見込の者。
- (4) 外国の大学において教育課程を履修し、博士論文研究基礎力審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者。
- (5) 個別の入学資格審査により、(1) または (2) と同等以上の学力があると本研究科において認めた者で、入学時に満24歳に達した者。

<個別資格審査>

上記(5)の資格により受験を希望する場合は、個別資格審査のための書類提出が必要です。2025年1月9日(木)までに必ず本研究科に連絡し、提示された書類を提出してください。なお、書類提出がなされずに出願した場合、入学試験を受験できないことがあります。

II. 出願期間および試験実施日

出願期間※	試験日
2025年2月10日(月)～2月17日(月)	2025年2月28日(金)

※出願は期間内必着。2月12日(火)は休業です。

III. 試験時間割

9:40	10:00～12:00	13:00～14:00	14:20～※1
受験生集合・ 注意事項説明	論文試験※2 (1科目)	外国語試験※2 (1科目)	口述試験

※1 受験者によって開始時刻が異なります。詳細は当日指示します。

※2 本研究科博士課程前期課程から引き続き後期課程への進学希望者で、修士論文が特に優秀な場合、論文試験を免除する場合があります。また本研究科前期課程アカデミックコース修了見込者で論文試験の免除者は、外国語試験も免除します。免除対象者は、集合時間を変更する場合がありますので、当日の集合時間は受験票をご確認ください。論文試験、外国語試験ともに免除になる該当者は、検定料が異なるため法学研究科(法学部)事務室へ入学願書を請求してください。

出願書類

後期課程 一般入学試験

※ 本学法学研究科の内部進学者で論文試験、外国語試験がともに免除となる場合、①入学願書は法学部事務室に請求してください。

①入学願書	入学検定料を納入のうえ、(C)～(E)票を提出してください。 (C)票「志望研究科 専攻・領域・コース・課程」欄 ・研究科名と専攻名を記入し、「博士課程後期課程」を○で囲んでください。 (C)票「論文試験受験科目」欄 ・別表<後期課程担当教員・受験科目等一覧>の中から、志望する指導教員の専攻科目（受験科目）を選び、◎欄に記入してください。○欄は記入不要です。 (C)票「入学後志望する指導教員名」欄 ・別表<後期課程担当教員・受験科目等一覧>の中から、志望する指導教員を1名選んで記入してください。 (C)票「外国語受験科目」欄 ・英語・フランス語・ドイツ語・中国語から受験を希望する言語を選択してください。 ※中国語を選択できるのは、基礎法学専攻希望者のみです。 (C)票「志望コース」欄 は記入不要です。 (D)票 ・郵便番号・住所・氏名を記入してください。 (E)票 ・必要事項を記入し、写真1枚（縦4cm×横3cm、正面上半身・脱帽、出願前3カ月以内に撮影したもの、裏面に氏名を記入）を貼付してください。
②成績証明書	出身大学院作成のもの。 <u>必ず出身大学院にて厳封したものを提出してください。</u>
③修了（見込）証明書※	出身大学院作成のもの。ただし、成績証明書に修了（見込）年月日の記載があれば不要です。
④進学推薦書またはこれに準じるもの	博士課程前期課程または修士課程の指導教員が作成したもの。 用紙および様式の指定はありません。
⑤志望理由書	法学研究科所定用紙に本人が記入してください。
⑥研究計画書	2,000字程度のものを3部（コピー可）提出してください。
⑦修士論文※	修士論文1部および日本語または英語による概要書（日本語で約2,000字相当）3部（コピー可）を提出してください。ただし、本研究科博士課程前期課程から引き続き進学する場合は概要書のみとします。

※外国の大学において修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者は、③、⑦に代わり出願資格を証明する書類を添付すること。

J D (Juris Doctor) 入学試験

I. 出願資格

法務博士の学位を有する者および2024年3月までに法務博士の学位を得る見込の者。

II. 出願期間および試験実施日

出願期間※	試験日
2025年2月10日(月)～2月17日(月)	2025年2月28日(金)

※出願は期間内必着。2月12日(火)は休業です。

III. 試験時間割

9:40	10:00～12:00	13:00～14:00	14:20～※1
受験生集合・ 注意事項説明	論文試験※2 (1科目)	外国語試験※3 (1科目)	口述試験

※1 受験者によって開始時刻が異なります。詳細は当日指示します。

※2 研究レポートを提出した者は、これを専攻しようとする専門科目の論文試験の受験に代えることとなります。研究レポートの配点は論文試験と同じとします。なお、集合時間を変更する場合がありますので、当日の集合時間は受験票をご確認ください。

※3 下表いずれかの資格を有する場合、外国語の試験が免除となります。

<外国語免除>

受験年度前の3カ年度中に、下表いずれかの語学試験に合格または所定のスコア以上を取得した者については、外国語試験を免除します。出願時にスコアシート(原本)を必ず提出してください。書類の返却を希望する方は申し出てください。

ただし、中国語については、基礎法学専攻を希望する場合のみ免除の対象とします。

英語	TOEFL® PBT : 550 点(paper-based)、 TOEFL iBT® : 80 点(internet-based)、 TOEIC : 785 点、 IELTS : 6.0、 Cambridge 英検 : FCE GTEC (CBT) : 1300、 英検 : 1 級、 国連英検 : A 級 (TOEFL-ITP テスト、TOEIC-IP テストのスコアは認めない)
フランス語	フランス語技能検定(仏検) : 2 級、 フランス語資格試験 DELF : B 1
ドイツ語	ドイツ語技能検定(独検) : 準1 級、 Goethe-Zertifikat : B 1
中国語	中国語検定 : 2 級、 漢語水平考試 : 5 級

※TOEIC 及び TOEFL はエデュケーション・テスト・サービス(ETS)の登録商標です。
本要項は ETS の検討を受けまたはその承認を得たものではありません。

出願書類

後期課程 J D (=Juris Doctor) 入学試験

①入学願書	入学検定料を納入のうえ、(C)～(E)票を提出してください。 (C) 票「志望研究科 専攻・領域・コース・課程」欄 ・研究科名と専攻名を記入し、「博士課程後期課程」を○で囲んでください。 (C) 票「論文試験受験科目」欄 ・別表<後期課程担当教員・受験科目等一覧>の中から、志望する指導教員の専攻科目(受験科目)を選び、◎欄に記入してください。○欄は記入不要です。 ・研究レポートを提出すると、専攻しようとする専門科目の論文試験の受験に代えることができます。研究レポートの配点は、論文試験と同じです。 (C) 票「入学後志望する指導教員名」欄 ・別表<後期課程担当教員・受験科目等一覧>の中から、志望する指導教員を1名選んで記入してください。 (C) 票「外国語受験科目」欄 ・英語・フランス語・ドイツ語・中国語から受験を希望する言語を選択してください。 ・中国語を選択できるのは、基礎法学専攻希望者のみです。 (D) 票 ・郵便番号・住所・氏名を記入してください。 (E) 票 ・必要事項を記入し、写真1枚(縦4cm×横3cm、正面上半身・脱帽、出願前3カ月以内に撮影したもの、裏面に氏名を記入)を貼付してください。
②成績証明書	出身(または在籍する)法科大学院作成のもの。 <u>必ず出身大学院にて厳封したものを提出してください。</u>
③修了(見込)証明書	出身(または在籍する)法科大学院作成のもの。ただし、成績証明書に修了(見込)年月日の記載があれば不要です。
④進学推薦書	出身(または在籍する)法科大学院の教員2名が作成したもので、研究計画、志望理由を裏付けるものを計2部。用紙および様式の指定はありません。 ※研究レポートを提出する場合は、進学推薦書作成教員2名に必ず研究レポートを確認してもらい、その上で進学推薦書を作成いただくよう依頼してください。
⑤志望理由書	法学研究科所定用紙に本人が記入してください。
⑥研究計画書	2,000字程度のものを3部(コピー可)提出してください。
⑦研究レポート	15,000字以上のもの。本人が作成・記入のものを3部(コピー可)提出してください。用紙および様式の指定はありません。 ※研究レポートの提出に代えて、専攻しようとする専門科目の論文試験を受験することができます。
⑧スコアシート	外国語試験免除の適用を申請される方はスコアシート(原本)を出願時に提出してください。書類の返却を希望する方は申し出てください。

社会人入学試験

後期課程の授業科目はすべて昼間開講となります。

I. 出願資格

次の各項のいずれかに該当する者。

(1) 国家資格試験に合格した者。

①司法試験に合格し司法修習を修了した者。

②司法書士、弁理士、公認会計士、税理士、不動産鑑定士、社会保険労務士、およびこれらに準ずる資格を現に有する者で、修士の学位を取得している者。または、2025年3月までに修士の学位を取得する見込みのある者。

(2) 当該入学時に修士の学位を取得している者。

①入学時に官公庁・会社・法律事務所等に2年以上在職中(休職期間を含む)であり、かつ在職のまま課程修了を目指す者。

②入学時に官公庁・会社・法律事務所等に30年以上在職経験を有する者。

(3) 本研究科において、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められる者で、入学時に官公庁・会社・法律事務所等に2年以上在職中(休職期間を含む)であり、かつ在職のまま課程修了を目指す者。

<注意事項>

出願資格の有無について疑問がある場合は、2025年1月9日(木)までに必ず本研究科まで問い合わせてください。出願資格の確認なく出願された場合、入学試験を受験できないことがあります。

II. 出願期間および試験実施日

出願期間※	試験日
2025年2月10日(月)～2月17日(月)	2025年2月28日(金)

※出願は期間内必着。2月12日(火)は休業です。

III. 試験時間割

11:30	11:45～※1
受験生集合・注意事項説明	口述試験※2

※1 受験者によって開始時刻が異なります。詳細は当日指示します。

※2 資料等の持ち込みを自由とします。

出願書類

後期課程 社会人入学試験

※本学の学部卒業者または大学院修了者の場合、①入学願書は法学部事務室に請求してください。

①入学願書	入学検定料を納入のうえ、(C)～(E)票を提出してください。 (C) 票「志望研究科 専攻・領域・コース・課程」欄 ・研究科名と専攻名を記入し、「博士課程後期課程」を○で囲んでください。 (C) 票「受験入試種別」欄は、特別入試を選択してください。 (C) 票「入学後志望する指導教員名」欄 ・別表<後期課程担当教員・受験科目等一覧>の中から、志望する指導教員を1名選んで記入してください。あわせて別紙後期課程入学試験要項 P. 3～を確認してください。 (D) 票 ・郵便番号・住所・氏名を記入してください。 (E) 票 ・必要事項を記入し、写真1枚（縦4cm×横3cm、正面上半身・脱帽、出願前3カ月以内に撮影したもの、裏面に氏名を記入）を貼付してください。
②成績証明書	出身大学院作成のもの。 <u>必ず出身大学院にて厳封したものを提出してください。</u>
③修了（見込）証明書	出身大学院作成のもの。ただし、成績証明書に修了（見込）年月日の記載があれば不要です。
④進学推薦書またはこれに準じるもの	勤務先または博士課程前期課程（修士課程）の指導教員等が作成したもの。用紙および様式の指定はありません。
⑤志望理由書	法学研究科所定用紙に本人が記入してください。
⑥研究計画書	2,000字程度のものを3部（コピー可）提出してください。
⑦修士論文	修士論文1部および概要書（2,000字程度）3部を提出してください。
⑧出願（受験）資格を証明する書類	資格の取得を証明できる書類。取得見込の場合は資格申請書等1通。
⑨履歴書	法学研究科所定用紙に本人が記入してください。

合格者発表

＜第2次＞ 2025 年 3 月 7 日(金) 9 時

本研究科（学部）に掲示すると同時に、志願票に記載の住所・氏名宛に可否通知を速達で郵送します。可否に関する電話での問い合わせには応じません。

入学手続

合格者は所定期間内に入学手続（ⅠおよびⅡ）を完了してください。

（1）入学手続Ⅰ〈入学(申込)金の納入〉

所定用紙を用い、入学(申込)金を下記期間内に金融機関(郵便局・ゆうちょ銀行は不可)の窓口で納入してください。

＜第2次＞ 2025 年 3 月 7 日(金) ～3 月 14 日(金)

金融機関（郵便局・ゆうちょ銀行は不可）の窓口での納入について

「電信扱」で納入してください。振込依頼書に記載の金融機関の本・支店から振り込む場合は手数料は不要です。取扱金融機関の出納印をもって、関西学院の領収とみなします。なお、納入締切日の出納印まで有効です。なお、金融機関により出納日付の取り扱いが異なりますので、締切間近に納入される場合には、事前に金融機関にご確認ください。ATM(現金自動預払機)及びインターネットバンキングからの振込みは受け付けません。

なお、前期課程一般の第1次試験でエキスパートコースで合格した者が、再度翌年の第2次試験を履修アカデミックコースで合格した場合、第1次試験で納入した入学金を第2次試験の入学金とすることができます。

（2）入学手続Ⅱ〈学費・その他の諸費の納入および書類の提出〉

以下の①および②を完了してください。

①学費・その他の諸費の納入

上記「（1）入学手続Ⅰ」同様、金融機関(郵便局・ゆうちょ銀行は不可)の窓口で納入してください。納入方法は上記「（1）入学手続Ⅰ」と同様です。なお、納入締切日時は次のとおりです。

2025年3月14日(金)
金融機関振込(郵便局・ゆうちょ銀行は不可)

②書類の提出

次の書類を **2025 年 3 月 14 日(金) 15 : 00** までに、法学研究科（法学部）事務室に提出してください。郵送する場合は期間内に必着するよう送付してください。

イ. 「住民票記載事項証明書」

市区町村発行。本学に入学する者の氏名、住所、生年月日、性別の証明のあるもの。外国人の場合は前述に加え、国籍、在留資格、在留期限の証明のあるもの。

※市区町村所定の様式がない場合は、入学手続きのご案内に同封の「住民票記載事項証明願」に正しく必要事項を記載し、市区町村の証明を受けてください。

※「住民票の写し」でも可。

ロ. 「学生証顔写真貼付台紙」(本学所定用紙)

ハ. その他(「入学手続きのご案内」に記載されている提出書類)

(3)入学式

2025年4月1日(火) 西宮上ヶ原キャンパスにて (予定)

(注意事項)

1. 所定期間内に入学手続(I およびII)を完了しない場合は入学の意思がないものとみなし、入学許可を取り消します。
2. いったん納入した入学申込金または入学金は返還しません。
3. 入学手続 I の期間内に納入した入学申込金(入学金と同額)は、学費・その他の諸費の納入と同時に入学金として取り扱います。
4. いったん納入した入学金以外の学費・その他の諸費は、定められた期間内に所定の手続きをすれば返還の請求ができます。なお、詳細は「入学手続きのご案内」を参照してください。
5. 提出書類は返還しません。
6. **関西学院窓口事務取扱時間(入試関連)は次のとおりです。**

取扱時間… 平日 9:30~11:30 および 12:30~15:00

過去問題の入手方法

過去3回分を公開します。

詳細は法学研究科(法学部)HP (https://www.kwansei.ac.jp/s_law/s_law_004921.html) をご覧ください。